

陸奥宗光伯と歴史、こころ 文化、教育、芸術、生命

[Count Mutsu Munemitsu and history, culture, education, art, spirit]



令和3年11月14日(日) 13時~15時30分(予定)

会場：和歌山城ホール 2階 小ホール 入場無料

陸奥宗光伯（伯爵）は、明治期にわが国を救った外務大臣として知られています。近年は外交史にとどまらず、文化、歴史、芸術、教育などに幅広く活かされています。 生命の限りを尽くして信念を貫いた宗光伯のような、和歌山県出身の先人の“こころ”をひもといてみたいと思います。

1部・基調講演 I 「陸奥宗光伯の生きる力を教育にどう活かすか」

文化庁 文化財一課長 鍋島 豊 様

・基調講演 II 「陸奥宗光公像とゆかりのある銅像たち」

銅像教育研究会 代表 丸岡 慎弥 様

2部・シンポジウム 「陸奥宗光伯とわが郷里の先人たちを語る」

1. 一般社団法人和歌山建築士会 副会長 中西 重裕 様 (郭家住宅【旧郭百甫医院】洋館)
2. 医聖 小山 肆成 (会長 立谷 誠一)
3. 宇宙教育の先駆者 上野 精一 (顧問 片桐 章浩)
4. 思想・哲学者 松下幸之助翁 (顧問 古川 祐典)
5. 松下幸之助翁 生誕の地から (理事 三木 きくみ)
6. 友好の絆 エルトゥール号物語 (理事 西廣 真治)
7. 教育者 小野田 寛郎翁 (副会長 臼井 康浩)

[2.~7.は、「陸奥宗光 外務大臣」の功績を教育に活かす実行委員会役員がお話いたします]

主催：文化庁 厚生労働省 和歌山県 和歌山県教育委員会
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会
「陸奥宗光外務大臣」の功績を教育に活かす実行委員会 紀州 宗光龍馬会



山青し 海青し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021
第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)~11月21日(日)